

**IBM InfoSphere DataStage and
QualityStage**

バージョン 11 リリース 3

**IBM InfoSphere Information
Server Unstructured
Data ステージ
メッセージ・リファレンス**



**IBM InfoSphere DataStage and
QualityStage**

バージョン 11 リリース 3

**IBM InfoSphere Information
Server Unstructured
Data ステージ
メッセージ・リファレンス**



お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、19 ページの『特記事項および商標』に記載されている情報をお読みください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC19-4340-00

IBM InfoSphere DataStage and QualityStage Version 11 Release 3

IBM InfoSphere Information Server

Unstructured Data Stage Message Reference

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2013, 2014.

目次

Unstructured Data ステージのメッセージ	1	付録 E. 製品資料へのアクセス	15
付録 A. 製品のアクセシビリティ	7	付録 F. 製品資料に関するフィードバック の提供	17
付録 B. コマンド・ライン構文の読み方	9	特記事項および商標	19
付録 C. 構文図の見方	11	索引	25
付録 D. IBM の窓口	13		

Unstructured Data ステージのメッセージ

このメッセージ・リファレンスには、Unstructured Data ステージのさまざまなコンポーネントから返されるメッセージが含まれています。

Unstructured Data ステージがインストールされているオペレーティング・システムの機能を熟知している必要があります。このメッセージ・リファレンスに記載されている情報を使用して、エラーや警告を識別し、適切なリカバリー・アクションによって問題を解決することができます。また、この情報により、メッセージが生成され記録される場所を確認できます。

パラレル・エンジンは、インストール、ファイルの書き込みおよび読み取り、および製品の一般的な使用において発生するエラーに関するメッセージを生成します。メッセージ情報は、エラーのタイプを記述し、そのエラーの発生理由を説明し、それらに対処する解決策を提示します。

各メッセージには、接頭部 (IIS) とメッセージ番号から構成されるメッセージ ID があります。メッセージは、メッセージ番号に基づいて番号順にリストされています。メッセージ・タイプには、エラー、警告、および通知の 3 種類があります。E で終わるメッセージ ID は、エラー・メッセージです。W で終わるものは警告を示しています。I で終わるメッセージは通知メッセージを示しています。

メッセージ中にある {0} 記号は、コードによって戻される変数を示しています。この変数は、生成されるメッセージに固有の値またはプロパティを示しています。

エラーの詳細は、InfoSphere™ DataStage® and QualityStage™ ディレクター・クライアントのログ・ファイルで確認できます。

IIS-CONN-UNST-02001E ファイル {ユーザーによって指定されたファイル名} が存在しません。

説明: 存在しないファイルがファイル名として指定されています。

ユーザーの処置: 有効なファイル名を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02002E ファイル {ユーザーによって指定されたファイル名} の Microsoft Excel ワークブックを読み取れません。{エラーの詳細情報}

説明: 指定されたファイルの読み取り中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳細情報を確認し、エラーを調べてください。

IIS-CONN-UNST-02004E データ・タイプ {抽出されるセルの Excel データ・タイプ} 値 {抽出されるセルの値} の Microsoft Excel セルは、データ・タイプ {セルにマップされる DataStage データ・タイプ} の列に抽出できません。

説明: 抽出中の Excel セルのデータ・タイプは、DataStage 列のデータ・タイプと互換性がありません。

ユーザーの処置: 列のデータ・タイプを変更してください。

IIS-CONN-UNST-02005I 列ヘッダーはブランクであるか、NULL 値を含んでいます。

説明: 列ヘッダーは「データ範囲の最初の行」に設定されていますが、最初の行の値がブランクまたは NULL であり、ヘッダーとして適切ではありません。

ユーザーの処置: 有効なヘッダー値を持つプレート・ファイルを使用してください。

IIS-CONN-UNST-02006E 内部エラーが発生しました。IBM ソフトウェア・サポートにお問い合わせください。エラー・コードは、{ 内部エラー・コード (整数) } です。{ 詳細エラー・メッセージ }

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-UNST-02007E プロパティ「{プロパティ名}」は、データ・タイプ {プロパティにマップされる DataStage データ・タイプ} の列に抽出できません。

説明: このデータ・タイプでは、指定されたプロパティの抽出はサポートされません。

ユーザーの処置: 列のデータ・タイプを変更してください。

IIS-CONN-UNST-02008E 列マッピングが定義されていません。列マッピングを構成してください。

説明: 列マッピングが構成されていません。

ユーザーの処置: 「構成」をクリックして、列マッピングを定義してください。

IIS-CONN-UNST-02009E 列 {マッピングがない列名} に列マッピングが定義されていません。列マッピングを構成してください。

説明: 列に列マッピングが定義されていません。

ユーザーの処置: 「構成」をクリックして、この列に列マッピングを定義してください。

IIS-CONN-UNST-02010E セルの位置 {ユーザーによって指定されたセル位置} は無効です。

説明: 指定されたセルの位置が無効です。

ユーザーの処置: 有効なセルの位置を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02012E セル値は、データ・タイプ {セルにマップされる DataStage データ・タイプ} の列に抽出できません。

説明: 列のデータ・タイプでは、Excel セル値の抽出はサポートされません。

ユーザーの処置: データ・タイプを変更してください。

IIS-CONN-UNST-02015E 式 {ユーザーによって指定されたファイル名式} に一致するファイルがありません。

説明: ファイル名にワイルドカードが使用されていますが、この式に一致するファイルがありません。

ユーザーの処置: 有効な式を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02016E 列 {Unstructured Data ステージが作成しようとしている列名} は既に存在しています。この列名は、ランタイム列伝搬が有効の場合、Unstructured Data ステージによって予約済みです。列名を変更してください。

説明: ランタイム列伝搬が有効になっており、Unstructured Data ステージが {Unstructured Data ステージが作成しようとしている列名} という名前の列を作成しようとしています。しかし、同じ名前の列が既に存在します。

ユーザーの処置: 既存の列の名前を変更してください。

IIS-CONN-UNST-02017E ランタイム列伝搬が有効ですが、指定されたデータ範囲に列が見つかりませんでした。

説明: ランタイム列伝搬が有効になっていますが、列が見つかりませんでした。

ユーザーの処置: ファイルまたはシートが空でないか確認してください。

IIS-CONN-UNST-02023E データ・タイプ {カスタム・プロパティのタイプ} のカスタム・プロパティ {ユーザーによって指定されたカスタム・プロパティ名} は、データ・タイプ {カスタム・プロパティにマップされる *DataStage* データ・タイプ} の列に抽出できません。列のデータ・タイプを変更してください。

説明: 抽出中のカスタム・プロパティのデータ・タイプは、*DataStage* 列のデータ・タイプと互換性がありません。

ユーザーの処置: 列のデータ・タイプを変更してください。

IIS-CONN-UNST-02024E カスタム・プロパティ {ユーザーによって指定されたカスタム・プロパティ名} が見つかりませんでした。

説明: 指定されたカスタム・プロパティは存在しません。

ユーザーの処置: 有効なカスタム・プロパティを指定してください。

IIS-CONN-UNST-02026E ファイル {ユーザーによって指定されたファイル名} の読み取りアクセスが拒否されました。

説明: ファイルを読みとることができません。

ユーザーの処置: ユーザーがファイルの読み取りを許可されているか確認してください。

IIS-CONN-UNST-02028E データ範囲の取得に失敗しました。{エラーの詳細情報}

説明: 抽出するデータ範囲の取得中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳細情報を確認し、エラーを調べてください。

IIS-CONN-UNST-02029I データ範囲 {抽出されるデータ範囲式} 位置 {1 から始まる相対位置番号 (整数)} の列ヘッダー値 {抽出されるデータ範囲の最初の行の値} が、列ヘッダー値 {テンプレート・データ範囲の最初の行の値} に一致しません。

説明: 先頭行はヘッダーですが、抽出中のデータ範囲のヘッダー値とテンプレート・データ範囲のヘッダー値が一致しません。

ユーザーの処置: 抽出中のデータ範囲と同じヘッダー値

を持つテンプレート・データ範囲を使用してください。

IIS-CONN-UNST-02030I 列 {列名} の長さは文字セットの変換が含まれているために検証できません。警告なしに切り捨てられる可能性があります。

説明: 列の長さに制限がありますが、非 Unicode 列の長さを検証するには文字セットの変換が必要となるため、長さを完全に検証することはできません。列の長さが足りない場合、警告なしに切り捨てられる可能性があります。

ユーザーの処置: 列を Unicode として定義するか、列の長さを指定しないでください。

IIS-CONN-UNST-02031W 列 {列名} の長さが、値 {抽出される列の値} を抽出するために十分ではありません。値は切り捨てられます。

説明: 実際の値の長さが、列定義の最大長より長くなっています。その結果、値は切り捨てられます。

ユーザーの処置: 値を抽出するのに十分な列の長さを指定してください。

IIS-CONN-UNST-02032E {*DataStage* 列のデータ・タイプ} *InfoSphere DataStage* データ・タイプは *Microsoft Excel* セルに書き込みできません。

説明: 列のデータ・タイプでは *Microsoft Excel* セルに書き込むことができません。

ユーザーの処置: 列のデータ・タイプを変更してください。

IIS-CONN-UNST-02033E 名前が {ファイル名} のファイルは既に存在しているため、ファイルは作成されませんでした。

説明: 「ファイル更新モード」プロパティが「作成」に設定されている場合、作成されるファイルは、同じディレクトリー内のファイルと同じ名前を持つことはできません。

ユーザーの処置: 固有のファイル名を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02034E 次の入出力エラーのために、{ファイル名} ファイルは作成されませんでした: {エラーの詳細説明}

説明: 入出力エラーのためにファイルの作成に失敗しました。

ユーザーの処置: ファイル・システムが使用可能であり、ユーザー ID にファイルを作成する特権があることを確認してください。

IIS-CONN-UNST-02035E {ファイル名} ファイルに書き込みできません。

説明: ファイルは書き込み可能ではありません。

ユーザーの処置: ユーザー ID にファイルを書き込む特権があることを確認してください。

IIS-CONN-UNST-02036E 「ファイル名」プロパティに指定された値がディレクトリーであるため、{ファイル名} ファイルは書き込まれませんでした。

説明: ファイルの書き込み先の完全なファイル・パスを指定します。ファイル名に .xlsx 拡張子を含める必要があります。

ユーザーの処置: 「ファイル名」フィールドに、有効なファイル名を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02037E 次のエラーのために、{ファイル名} ファイルは書き込み用にオープンされませんでした: {エラーの詳細説明}

説明: ファイルを書き込み用にオープンできませんでした。

ユーザーの処置: ファイル・システムが使用可能であり、ユーザー ID に、ファイルに書き込む特権があることを確認してください。

IIS-CONN-UNST-02038E シート名が無効であるため、{シート名} シートは作成されませんでした: {エラーの詳細説明}

説明: 指定されたシート名が無効であるため、シートを作成中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 有効なシート名を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02039E パラレル実行はサポートされません。

説明: パラレル実行は、ターゲットのコンテキストではサポートされていません。

ユーザーの処置: 順次モードで実行してください。

IIS-CONN-UNST-02040E このステージにリンクは定義されていません。

説明: このステージには、少なくとも 1 つの入力または出力のリンクが必要です。

ユーザーの処置: 1 つ以上の入力または出力のリンクを定義してください。

IIS-CONN-UNST-02041E 次の入出力エラーのために、{ファイル名} ファイルは書き込まれませんでした: {エラーの詳細説明}

説明: 入出力エラーのためにファイルの書き込みに失敗しました。

ユーザーの処置: ファイル・システムが使用可能であり、ユーザー ID に、ファイルに書き込む特権があることを確認してください。

IIS-CONN-UNST-02042E {ターゲット・ファイル名} ファイルは、名前とファイル・パスが {テンプレート・ファイル名} テンプレート・ファイルと同じであるため、作成されませんでした。

説明: テンプレート・ファイルと同じ場所にファイルをコピーすることはできません。

ユーザーの処置: 「ファイル名」フィールドに、テンプレート・ファイルとは異なる、新規ファイルの名前またはファイル・パスを指定してください。

IIS-CONN-UNST-02043E {ファイル名} Microsoft Excel ファイルのフォーマットはサポートされません。

説明: Microsoft Excel ファイルは Office Open XML (.xlsx) ファイル・フォーマットを使用する必要があります。

ユーザーの処置: Office Open XML (.xlsx) フォーマットの Microsoft Excel ファイルを指定してください。OLE2 (.xls) フォーマットの Microsoft Excel ファイルを処理するには、それを Office Open XML フォーマットに変換してください。

IIS-CONN-UNST-02044E {シート名} Microsoft Excel シートが見つかりませんでした。

説明: 指定された Microsoft Excel シートは存在しません。

ユーザーの処置: 「ファイル名」フィールドに、有効な Microsoft Excel シート名とファイル・パスを指定してください。

IIS-CONN-UNST-02045W 行が空白であるため、列ヘッダーを使用して、書き込む Microsoft Excel 列を見つけることができません。列の絶対位置 {列位置} を使用します。

説明: 「列ヘッダー」プロパティは「最初の行」に設定されていますが、最初の行は空白です。

ユーザーの処置: 有効なヘッダー値を持つ Microsoft Excel シートを使用するか、「列ヘッダー」プロパティを「なし」に設定してください。

IIS-CONN-UNST-02046W {列のヘッダー} ヘッダーを持つ Microsoft Excel 列が見つかりませんでした。列の絶対位置 {列位置} を使用します。

説明: 「列ヘッダー」プロパティは「最初の行」に設定されていますが、Microsoft Excel シートの中で、指定された Microsoft Excel 列ヘッダーが見つかりませんでした。この警告は、ジョブが作成された後にターゲット・ファイルまたはテンプレート・ファイルが更新された場合に出されることがあります。

ユーザーの処置: ジョブの中で、「ファイル名」フィールドに現在のターゲット・ファイルを指定するか、「テンプレート・ファイル名」フィールドにテンプレート・ファイルを指定してください。

IIS-CONN-UNST-02047E 複数の InfoSphere DataStage 列が {列位置} Microsoft Excel 列にマップされています。

説明: 複数の InfoSphere DataStage 列が同じ Microsoft Excel 列にマップされています。このエラーは、「列ヘッダー」プロパティが「最初の行」に設定されていて、ヘッダーが固有でない場合、ヘッダーが空白である場合、またはヘッダーを持つ Microsoft Excel 列が見つからない場合に発生します。

ユーザーの処置: 固有な値がヘッダーにあり、ジョブの作成後に変更されていないことを確認してください。

IIS-CONN-UNST-02048E 「書き込みを開始する行」オプションに指定された値 {「書き込みを開始する行」オプションの値} が無効です。

説明: 指定された値が無効です。

ユーザーの処置: 「列ヘッダー」プロパティが「最初の行」に設定されている場合は、2 以上の数を入力してください。「列ヘッダー」プロパティが「なし」に設定されている場合は、1 以上の数を入力してください。

IIS-CONN-UNST-02049E {ユーザーによって指定されたテンプレート・ファイル名} テンプレート・ファイルが存在しません。

説明: 指定されたテンプレート・ファイル名が存在しません。

ユーザーの処置: 有効なテンプレート・ファイル名を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02050E 次の入出力エラーのために、{テンプレート・ファイル名} テンプレート・ファイルは {ターゲット・ファイル名} にコピーされませんでした: {エラーの詳細説明}。

説明: 入出力エラーのために、テンプレート・ファイルはコピーされませんでした。

ユーザーの処置: ファイル・システムが使用可能であり、ユーザー ID にファイルをコピーする特権があることを確認してください。

IIS-CONN-UNST-02051E {ファイル名} Microsoft Excel ファイルはパスワード保護されています。

説明: パスワード保護された Microsoft Excel ファイルは読み取りも書き込みもできません。

ユーザーの処置: パスワード保護されていない Microsoft Excel ファイルを指定してください。

IIS-CONN-UNST-02052E 指定された {InfoSphere DataStage 列の名前} InfoSphere DataStage 列は存在しません。

説明: Microsoft Excel 列にマップされている、指定された InfoSphere DataStage 列は存在しません。

ユーザーの処置: マップ表にある有効な InfoSphere DataStage 列を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02053E 複数のリンクで {シート名} Microsoft Excel シートが指定されています。

説明: 1 つの Microsoft Excel シートには、1 つの入力リンクのみから書き込むことができます。

ユーザーの処置: 各入力リンクに異なる Microsoft Excel シート名を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02215W 指定されたファイルの読み取り中にエラーが発生しました。 {エラーに関する情報 (オプション) }

説明: 指定されたファイルの読み取り中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: このメッセージの後に示されている詳細情報を確認し、エラーについて調べてください。

IIS-CONN-UNST-02219W シート {ユーザーによって指定されたシート名} はファイル {ユーザーによって指定されたファイル名} に見つかりませんでした。

説明: 範囲式に指定されたシートがファイルにありませんでした。

ユーザーの処置: 有効なシート名を指定してください。

IIS-CONN-UNST-02221W {警告に関する情報}

説明: 警告発生事象が発生しました。

ユーザーの処置: 詳細情報を確認し、警告について調べてください。

IIS-CONN-UNST-02222W {エラーに関する情報}

説明: エラー発生事象が発生しました。

ユーザーの処置: 詳細情報を確認し、エラーを調べてください。

IIS-CONN-UNST-02230W メモリー不足のため、ファイル {ユーザーによって指定されたファイル名} をロードできません。ファイルが大きすぎる可能性があります (サイズは {ファイル・サイズ} バイトです)。JVM 最大ヒープ・サイズは {JVM 最大ヒープ・サイズ} です。使用済みのヒープ・サイズは {現在消費されたヒープ・サイズ} です。 {エラーに関する情報 (オプション) }

説明: このメッセージは、ISF-CAS-NATIVE カテゴリ・メッセージ 330001 としてコネクタ・アクセス・サービス・ログに記録されます。Java

OutOfMemoryError が発生する可能性があるために指定されたファイルをロードする要求がキャンセルされた場合、これがスローされます。

ユーザーの処置: より小さいファイルを指定するか、しばらく待ってからアクションを再試行してください。詳しくは、トラブルシューティングを参照してください。

付録 A. 製品のアクセシビリティ

IBM® 製品のアクセシビリティ対応状況についての情報を入手できます。

IBM InfoSphere® Information Server 製品のモジュールおよびユーザー・インターフェースは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況の詳細は、http://www.ibm.com/able/product_accessibility/index.html の IBM 製品のアクセシビリティ情報をご覧ください。

アクセシビリティ対応資料

IBM Knowledge Center には、製品のアクセシビリティ対応資料が用意されています。IBM Knowledge Center では、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で資料を提供しています。IBM Knowledge Center では XHTML を使用しているため、使用しているブラウザに設定されている表示形式で資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーやその他の支援技術を使用して、資料にアクセスすることもできます。

IBM Knowledge Center にある資料は、PDF ファイルでも提供されますが、こちらは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM のアクセシビリティに対する取り組み

アクセシビリティに関する IBM のコミットメントの詳細については、IBM Human Ability and Accessibility Center を参照してください。

付録 B. コマンド・ライン構文の読み方

この資料では、特殊文字を使用してコマンド・ライン構文を定義しています。

次の特殊文字によってコマンド・ライン構文が定義されます。

- [] オプションの引数を識別します。大括弧で囲まれていない引数は必須です。
- ... 前の引数に複数の値を指定できることを示します。
- | 同時には使用できない情報であることを示します。区切り文字の左側の引数か、右側の引数のどちらか一方を使用できます。単一のコマンド使用で、両方の引数を使用することはできません。
- { } 同時には使用できない一連の引数を囲みます。この内の 1 つは必須です。引数がオプションの場合、引数は大括弧 ([]) で囲まれます。

注:

- 引数の最大文字数は 256 です。
- 埋め込みのスペースがある引数値は、単一引用符または二重引用符で囲みます。

例:

```
wsetsrc[-S server] [-l label] [-n name] source
```

source 引数は、**wsetsrc** コマンドで唯一必須の引数です。他の引数は大括弧で囲まれています。これは、これらの引数がオプションであることを示します。

```
wlsac [-l | -f format] [key... ] profile
```

この例で、**-l** および **-f format** 引数は、同時には使用できないもので、オプションでもあります。*profile* 引数は必須です。*key* 引数はオプションです。*key* 引数のあとの省略符号 (...) は、複数の *key* 名を指定できることを示します。

```
wrb -import {rule_pack | rule_set}...
```

この例で、*rule_pack* および *rule_set* 引数は同時には使用できませんが、どちらか 1 つの引数は指定する必要があります。また、省略符号 (...) は、複数の *rule_pack* または *rule_set* を指定できることを示します。

付録 C. 構文図の見方

本書で使用される構文図には、以下の規則が適用されます。

- 構文図は、左から右、上から下に、線に沿って読みます。以下の規則が使用されます。
 - >>--- 記号は、構文図の始まりを示します。
 - ---> 記号は、構文図が次の行に続くことを示します。
 - >--- 記号は、構文図が前の行から続いていることを示します。
 - --->< 記号は、構文図の終わりを示します。
- 必須項目は、水平線 (メインパス) 上にあります。



- オプション項目はメインパスの下に表示されます。

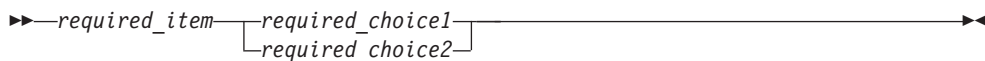


オプション項目がメインパスの上に表示される場合、その項目は構文要素の実行に影響せず、単に読みやすくするために使用されます。

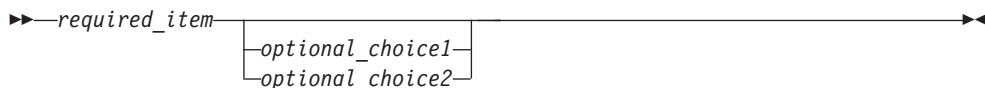


- 複数の項目から選択できる場合は、それらの項目を縦に並べて (スタック) 示しています。

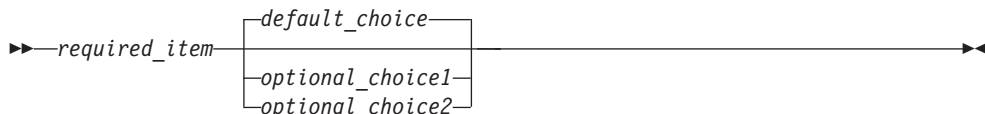
項目の 1 つを選択する必要がある場合は、スタックの 1 つの項目がメインパス上に示されています。



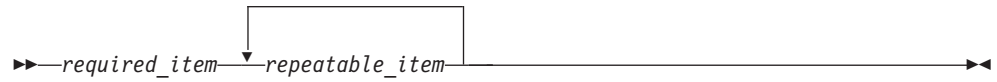
項目から 1 つをオプションで選択できる場合、スタック全体がメインパスよりも下に示されます。



項目の 1 つがデフォルトである場合は、その項目はメインパスの上に表示され、残りの選択項目は下に示されます。



- メインラインの上に、左へ戻る矢印がある場合には、項目を繰り返して指定できることを示しています。



繰り返しの矢印にコンマが含まれている場合は、繰り返し項目をコンマで区切らなければなりません。



スタックの上の反復矢印は、スタック内の項目を反復できることを示します。

- 構文図が、複数のフラグメントに分かれている場合があります。構文フラグメントはメインの構文図とは別に示されますが、フラグメントの内容は、図のメインパス上にあるものとして読む必要があります。



fragment-name:



- キーワードは大文字で表示され、最小の省略形が存在する場合にはそれも大文字で表示されます。示されているとおりに入力する必要があります。
- 変数は、すべて小文字のイタリック体 (例えば、*column-name*) で表示されます。これらは、ユーザーが指定する名前または値を表します。
- 図の中に句読点がない場合は、キーワードおよびパラメーターを 1 つ以上のスペースで区切ります。
- 句読記号、括弧、算術演算子、およびその他の記号は、図に示されているとおりに入力してください。
- 脚注は、(1) のように、括弧の中に数字を入れた形で示されます。

付録 D. IBM の窓口

お客様サポート、ソフトウェア・サービス、製品情報、および全般情報について、IBM と連絡を取ることができます。また、製品についてのフィードバックを行うことができます。

次の表に、お客様サポート、ソフトウェア・サービス、研修、製品およびソリューション情報に関するリソースをリストしています。

表1. IBM リソース

リソース	説明と場所
IBM サポート・ポータル	サポート情報は、 www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server で、製品と関心のあるトピックを選択してカスタマイズできます。
ソフトウェア・サービス	ソフトウェア、IT、およびビジネス・コンサルティング・サービスについての情報は、「ソリューション」サイト www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja にアクセスしてください。
My IBM	www.ibm.com/account/jp/ja/ の「My IBM」サイトでアカウントを作成し、特定のテクニカル・サポートのニーズに合うように、IBM Web サイトおよび情報へのリンクを管理できます。
研修と認定	個人、法人、および公共団体向けに、IT 技術の習得、維持、最適化を目的としてデザインされた技術研修およびサービスについては、 http://www.ibm.com/training にアクセスしてください。
IBM 担当員	ソリューションについて IBM 担当員と連絡を取るには、 www.ibm.com/connect/ibm/us/en/ にアクセスしてください。

付録 E. 製品資料へのアクセス

資料は、オンラインの IBM Knowledge Center、オプションでローカルにインストールしたインフォメーション・センター、PDF のブックといったさまざまな形式で提供されます。製品クライアント・インターフェースから、オンラインまたはローカルにインストールしたヘルプに直接アクセスすることができます。

IBM Knowledge Center は、InfoSphere Information Server の最新情報を探すのに最適な場所です。IBM Knowledge Center には、スイートのすべての製品モジュールの全資料のほか、ほとんどの製品インターフェースのヘルプも含まれています。IBM Knowledge Center は、インストール済み製品から開くことも、Web ブラウザーから開くこともできます。

IBM Knowledge Center へのアクセス

オンライン資料にアクセスするには、さまざまな方法があります。

- クライアント・インターフェースで、画面右上の「ヘルプ」リンクをクリックします。
- F1 キーを押します。F1 キーを押すと、通常、クライアント・インターフェースの現行コンテキストを説明するトピックが開きます。

注: F1 キーは、Web クライアントでは機能しません。

- 製品にログインしていないときなどに、Web ブラウザーにアドレスを入力します。

すべてのバージョンの InfoSphere Information Server の資料にアクセスするには、以下のアドレスを入力します。

<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ/>

特定のトピックにアクセスするには、製品 ID とバージョン番号、資料プラグイン名、および URL 内のトピック・パスを指定します。例えば、バージョン 11.3 用のこのトピックの URL は以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ_11.3.0/⇒com.ibm.svg.im.iis.common.doc/common/accessingiidoc.html

ヒント:

Knowledge Center には、以下の短縮 URL もあります。

<http://ibm.biz/knowctr>

特定の製品ページ、バージョン、またはトピックの短縮 URL を指定するには、短縮 URL と製品 ID の間にハッシュ文字 (#) を使用します。例えば、すべての InfoSphere Information Server 資料の短縮 URL は、以下のとおりです。

<http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ/>

また、前述のトピックの URL を少し短くした短縮 URL は、以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

```
http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ_11.3.0/com.ibm.swg.im.iis.common.doc/⇒  
common/accessingiidoc.html
```

ローカルにインストールした資料を参照するヘルプ・リンクの変更

IBM Knowledge Center には、最新版の資料が含まれています。一方、インフォメーション・センターとしてローカル版の資料をインストールして、それを指すようにヘルプ・リンクを構成することも可能です。ローカルのインフォメーション・センターは、お客様の企業でインターネットへのアクセスが提供されていない場合に便利です。

インフォメーション・センターのインストール・パッケージに付属するインストール手順を使用して、任意のコンピューターにそれをインストールします。インフォメーション・センターをインストールして開始した後、サービス層のコンピューターで **iisAdmin** コマンドを使用して、製品の F1 とヘルプ・リンクで参照する資料の場所を変更できます。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

Windows

```
IS_install_path¥ASBServer¥bin¥iisAdmin.bat -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

AIX® Linux

```
IS_install_path/ASBServer/bin/iisAdmin.sh -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

ここで、<host> はインフォメーション・センターがインストールされたコンピューターの名前、<port> はインフォメーション・センターのポート番号です。デフォルトのポート番号は 8888 です。例えば、デフォルト・ポートを使用するコンピューター `server1.example.com` 上の URL 値は、`http://server1.example.com:8888/help/topic/` になります。

PDF およびハードコピー資料の入手

- PDF ファイルのブックはオンラインで利用可能で、サポートの文書 <https://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27008803&wv=1> からアクセスできます。
- IBM 資料は、オンラインでダウンロード、または IBM 担当員を通じてご注文いただけます。資料をオンラインでダウンロードするには <http://www.ibm.com/e-business/linkweb/publications/servlet/pbi.wss> の IBM Publications Center にアクセスしてください。

付録 F. 製品資料に関するフィードバックの提供

IBM の資料に関する貴重なフィードバックをご提供ください。

お客様からのご意見やご感想は、IBM が質の高い情報を提供するための参考にさせていただきます。ご意見をお寄せいただく場合は、次のいずれかの方法を使用することができます。

- IBM の Web サイトでホストしている IBM Knowledge Center 内のトピックについてコメントをお寄せいただくには、サインインし、トピックの下の「**コメントの追加**」ボタンをクリックしてコメントを追加してください。このようにして送信されたコメントは、一般に公開されます。
- IBM Knowledge Center 内のトピックに関するコメントを IBM に送信し、他の人からは閲覧できないようにするには、サインインし、IBM Knowledge Center の下の「**フィードバック**」リンクをクリックしてください。
- オンライン・リーダー用のコメント・フォーム (www.ibm.com/software/awdtools/rcf/) を使用して、コメントを送信します。
- コメントを E メールで comments@us.ibm.com に送付します。お送りいただく情報には、製品の名前、製品のバージョン番号、資料の名前と部品番号 (該当する場合) を含めてください。特定のテキストについてご意見がある場合は、そのテキストの位置 (例えば、タイトル、表番号、ページ番号など) を記載してください。

特記事項および商標

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、ご利用にはその言語版の製品もしくは製品のコピーを所有していることが必要な場合があります。

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、さまざまなオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されて

います。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッションごとの Cookie または永続的な Cookie を使用する場合があります。製品またはコンポーネントがリストされていない場合、その製品またはコンポーネントは Cookie を使用しません。

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用 (続き)

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Metadata Asset Manager	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 拡張されたユーザーのユーザビリティ シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere DataStage®	Big Data File ステージ	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名 デジタル署名 セッション ID 	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere DataStage	XML ステージ	セッション	内部 ID	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere DataStage	IBM InfoSphere DataStage and QualityStage® Operations Console	セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Data Click	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Data Quality Console		セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere QualityStage Standardization Rules Designer	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Information Governance Catalog		<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名 内部 ID ツリーの状態 	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere Information Analyzer	InfoSphere DataStage and QualityStage Designer クライアントの中の Data Rules ステージ	セッション	セッション ID	セッション管理	無効にできない

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライ

ン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java[™] およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

お客様サポート
連絡先 13

[カ行]

構文
 コマンド・ライン 9
コマンド
 構文 9
コマンド・ライン構文
 規則 9

[サ行]

サポート
 お客様 13
商標
 リスト 19
製品資料
 アクセス 15
製品のアクセシビリティ
 アクセシビリティ 7
ソフトウェア・サービス
 連絡先 13

[タ行]

特殊文字
 コマンド・ライン構文での 9
特記事項 19

[マ行]

メッセージ・リファレンス
 Unstructured 1

W

Web サイト
 IBM 以外 11



Printed in Japan

SC43-0996-00



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21